

OCTOBER 1998

21世紀の社会保障改革に向けた視点

特別寄稿

社会保障問題を考える視点

竹中平蔵(慶應義塾大学教授)

研究論文

70歳高齢者の日常生活実態

— 実態調査から見たわが国高齢者の生活 —

岸田宏司・小野信夫

介護サービスにおける公と民の役割に関する経済分析

郷一尚

介護サービス契約のあり方に関する一試論

— 消費者保護にかかる8つのポイント —

長沼建一郎

厚生年金「簡易試算モデル」の開発

森茂雄・長沼建一郎



刊行にあたって

本格的な高齢社会を迎え、社会保障改革は今や日本にとって最大かつ最重要な課題のひとつとなっている。

ニッセイ基礎研究所では、これまでも家族・少子化問題や年金・介護問題など、高齢社会に関する幅広い研究に取り組んできたが、今年研究所が10周年を迎えるに当たって、これまでの研究を踏まえて、社会保障をめぐるいくつかのテーマに焦点を当てた論文集を刊行することとした。

今回収録した研究員による論文は、四編である。

第一の「70歳高齢者の日常生活実態」は、いわば総論として、高齢社会における高齢者の姿に実態調査を通じて迫ろうとしたものである。

第二、第三の論文は介護関係を扱うものである。「介護サービスにおける公と民の役割に関する経済分析」は、供給主体および費用の公民の役割分担について、政策論としてとらえることを試みたものである。「介護サービス契約のあり方に関する一試論」は、介護サービスの質を確保する方策を、具体的な法的ルールとして提示することを試みたものである。

第四の「厚生年金『簡易試算モデル』の開発」は、公的年金改革問題を定量的にとらえるための、いわばメジャーとして、厚生年金の簡易な試算モデルを広く世の中に提示することを試みたものである。

掲載した各論文は、その方法は異なるが、いずれもシンクタンクの役割あるいは可能性を追求し、個々のテーマへの具体的なアプローチを試みたものである。各テーマの具体性を重視したため、総合的なビジョンといえるようなものではない。また独自性を持つ分、その知見や主張の妥当性には大いに議論がありうるであろう。忌憚なきご意見・ご批判をお願いしたい。

なお、ご多忙の慶應義塾大学・竹中平蔵教授より、特別寄稿「社会保障問題を考える視点」を頂いた。厚く感謝申し上げたい。

1998年10月

ニッセイ基礎研究所
社長 正田 文男

特別寄稿

「社会保障問題を考える視点」

慶應義塾大学教授（ニッセイ基礎研究所特別研究員） 竹中平蔵 …… 1

研究論文

「70歳高齢者の日常生活実態」

— 実態調査から見たわが国高齢者の生活 —

生活研究部 主任研究員 岸田宏司
副主任研究員 小野信夫 …… 5

「介護サービスにおける公と民の役割に関する経済分析」

産業調査部 研究員 郷一尚 …… 49

「介護サービス契約のあり方に関する一試論」

— 消費者保護にかかる8つのポイント —

生活研究部 副主任研究員 長沼建一郎 …… 83

「厚生年金『簡易試算モデル』の開発」

生活研究部 部長 森茂雄
副主任研究員 長沼建一郎 …… 131